

【ご案内】新電話システムの導入



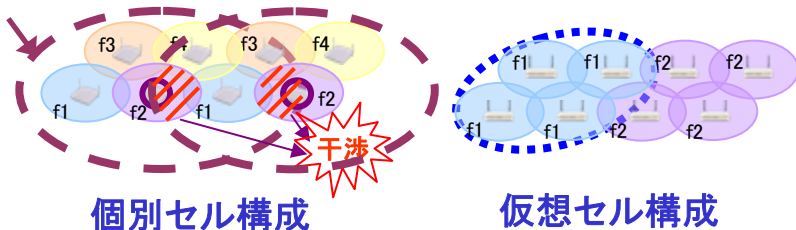
☆最新の無線LANシステム、無線電話端末による電話環境の刷新

導入のポイント

- ・SIPサーバ(ES9800i)の採用で、IP電話システムを構築。
- ・無線LAN IP電話(N902iL)の採用で、モビリティ化による業務効率の向上、One Phone化によるコスト削減を実現。
- ・無線LANコントローラには三菱電機製CWCの採用で、優れた音声品質、電波干渉の軽減、高速ハンドオーバを実現。
- ・IP化・モビリティ化することにより、レイアウト変更時の移設工事費を削減し、フレキシブルな人員配置を低コストで実現。
- ・将来的にはコンピュータと連携して利用シーンにあわせた様々なアプリケーションを実現することが可能。

三菱電機製無線LANアクセスポイント(AP)の特徴

- 「グループセル」と呼ぶ仮想セル方式(*)を採用



個別セル構成
カバーエリア内やAP-AP間で干渉し十分なパフォーマンスを実現できない

仮想セル構成
干渉関係が成立する一つの周波数エリア(CSMA/CDメイン)を形成するので、送信出力の調整が不要

- ①隣りあう複数の基地局(セル)が同一の周波数を使用し、これらのセルをひとつのセルとみなすバーチャルセル方式を実現。個別セル構成に比べて大きなセルが構成できるため、AP台数の低減・不感地帯の軽減を実現。
- ②同一周波数となるバーチャルセル間距離がバーチャルセル単位となるため、個別セル方式に比べ干渉距離が増大し、干渉が低減され音声品質が向上。

※ 仮想セル方式
同一周波数のエリアが隣接しても電波干渉が制御しにくい無線の制御方式を用いて複数の同一チャンネル尾あたかもの一つのセルのように端末側に見せる方式。

- 「高速ハンドオーバ」による音声品質の確保

ハンドオーバ時の認証シーケンスを簡略化して、ハンドオーバ時間を短縮。高速ハンドオーバを実現。無線IP電話でハンドオーバ時に発生する音飛び時間を大幅に短縮。

- 「同時通話数制御機能」による音声品質の確保

同時通話数制御機能(CAC)により、LANに流れる通話トラフィックを制限することで通話音声品質を確保。

また、通話数に応じてQoSパラメータを調整することにより、データ系と混在した際にも通話数分の音声系帯域を確保します。



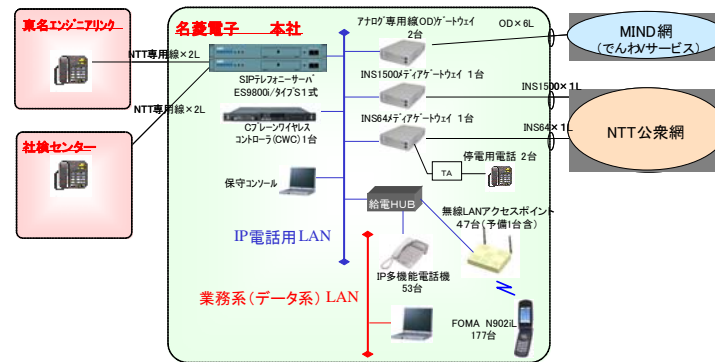
無線IP端末(N902iL)

無線LANとFOMA®のワイヤレス技術を活用し、内線電話・携帯電話、1台2役のモバイル電話システムを提供。1つの電話端末を社内では内線電話、社外では外線電話としてシームレスに利用可能。NTT DoCoMoの携帯電話端末であるため、公衆付きPHSや他キャリアの携帯電話端末と比較して社外での通話エリアを心配する必要もありません。

FOMA®無線LANデュアル端末
FOMA® N902iL



システム構成イメージ



【お問合せ先】

三菱電機情報ネットワーク株式会社 中部支店
〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-41-5 船場名古屋ビル6階
TEL (052) 571-8011 FAX (052) 571-8022